

[総務文教常任委員会審査報告]

総務文教常任委員会は3月13日、14日、17日及び20日に開催し、本委員会に付託された案件について審査を行いましたので報告を申し上げます。

付託案件は、第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案、第12号議案中関係部分及び第16号議案の以上6件であります。

本委員会は、これらの議案を慎重に審査いたしました結果、第12号議案中関係部分については賛成多数で、その他の議案は全員一致をもって、いずれも原案のとおり可決されました。

以下、審査の過程における各委員からの主な意見を申し上げます。

最初に、総合政策部関係について申し上げます。

まず、官民連携によるスマートシティの推進についてであります。

兵庫県からスマートシティモデル地区の認定を受け、ICTやデータを活用した官民連携の取組として、ロボット技術を活用した高齢者の外出支援や、聴覚障害者や外国人とのコミュニケーション支援などの実証実験に取り組まれますが、他市での先進的な取組なども参考に、三木市の課題に焦点を合わせた取組を進めていただきたいのであります。

次に、みっきい☆健康アプリの利用促進についてであります。

令和5年度は、アプリ利用者の目標を5,000人と設定し、新たに、スポーツイベントや、周遊型観光イベントへの参加を通じた活動にポイントを付与し、利用促進を図られようとされていますが、誰もが参加できるよう、スマートホンの設定や操作方法について、丁寧な説明をされたいのであります。

次に、総務部関係について申し上げます。

職員の勤務時間等に関する条例の一部改正についてであります。

正規職員と会計年度任用職員の待遇面における格差解消を図るため、正規職員の夏季休暇の付与日数を改められようとされていますが、心身の健康の維持及び増進又は家庭生活の充実が図られるよう、職員が有給休暇を取得しやすい職場環境の整備に努められたいのであります。

次に、市民生活部関係について申し上げます。

まず、防犯機能付き電話機等の購入支援についてであります。

高齢者を狙った特殊詐欺による被害を防止するため、通話前の警告機能や、通話中の録音機能を備えた電話機等の購入助成をされるようですが、事業の周知においては、近隣市に比較して被害発生件数が多いことを念頭に、高齢者はもとより、団体や、高齢者と同居する家族にも広く情報提供をされたいのであります。

次に、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の支援についてであります。

飼い主のいない猫の増加による糞害等を抑制し、良好な生活環境を確保するため、対象地域の住民に対して、TNR活動や地域猫活動に関する十分な周知を行った後、

秋ごろから各団体が行う不妊・去勢手術の費用の一部を助成されるようですが、猫の繁殖期も考慮され、実効性の高い不妊・去勢手術ができるよう事業スケジュールの前倒しも検討されたいのであります。

次に、教育委員会関係について申し上げます。

まず、小中一貫教育推進事業についてであります。

本年1月に三木市小中一貫教育推進協議会において取りまとめられた「三木市の小中一貫教育推進に係る意見書」を受けて、三木市の施設一体型小中一貫校のモデル校の整備に向けて、施策を着実に進められようとされていますが、市全体の将来像についても市民にもわかりやすいメッセージとして発信されたいのであります。

次に、ICT教育指導員、不登校対策指導員及び学校看護員の増員についてであります。

社会の変化にともなって複雑化・多様化する様々な課題をもつ児童生徒を支援するため、教員と連携・分担して対応する専門スタッフを増員し、学校機能の強化を図ろうとされていますが、単なる増員に留まらず、適材適所の配置と学校全体での協力体制も充実されたいのであります。

次に、「未来を創る学力育成三木モデル事業」についてであります。

これからの時代に求められる「主体性、協働性、創造力」を育成するため、授業改善や、教職員研修の充実を図るとともに、これらの取組を学校・家庭間の連絡アプリ「スグール」での動画配信等を通じて保護者と共有し、家庭と連携した事業推進に取り組まれようとしています。様々な家庭事情も考慮し、確実な意思疎通が図られるよう配慮されたいのであります。

以上、総務文教常任委員会の審査報告といたします。